

外壁用部材

深形スクエアフード

深形スクエアフード〈薄形小風量タイプ〉

防火ダンパー付深形スクエアフード〈防火設備該当品〉

防火ダンパー付深形スクエアフード〈薄形小風量タイプ・防火設備該当品〉

取扱説明書（据付説明書付）



この製品は、換気扇をダクト配管して給気・排気をする場合に屋外側のダクト先端に据付けて使用するものです。

■防火ダンパー付は、ダクト配管を通して火災が広がるのを防止する構造になっています。

■防火ダンパーの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。

■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前に、説明書をよくお読みになり正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

タイプ	適用パイプ 口径 (mm)	タイプ	適用パイプ 口径 (mm)
AT-75	φ75	AT-150	φ150
AT-100	φ100	AT-175	φ175
AT-125	φ125	AT-200	φ200

●適用パイプ種類…スパイラルダクト、塩ビ管 (VU)、(VP)
〔塩ビ管 (VP) は、AT-150 (φ150) 以上には接続不可〕

●温度ヒューズ溶断温度

72℃…形名の最後「D」・「D-**」

120℃…形名の最後「K」・「K-**」

※「**」には機種により異なったアルファベットまたは数字が入ります。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●防火ダンパーを密閉または、半密閉の燃焼設備（給湯機・風呂釜など）の排気ダクトには使用しない（誤動作によりダンパーが閉じて排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因） ●常時振動したり、振動しやすい場所には据付けしない（落下によるけがの原因）
指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の据付けは、十分強度のあるところを選んで確実に行う（落下によるけがの原因）

注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ●据付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがの原因）

据付け前の準備

据付け前に下記のものをご用意ください。

・シーリング材 (JIS A 5758適合品のシリコン系、変成シリコン系)

＜木ねじによる据付けを行う場合＞

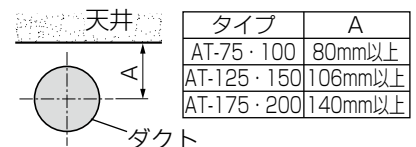
・ステンレス製木ねじ（呼び径3.5～3.8、長さ20mm以上）

※カールプラグは、金属製木ねじプラグ 品番#8または、カールPCプラグ 品番6（木ねじの長さに合わせて選定してください）

※腐食の発生原因となりますので、金属部品は必ずステンレス製をご使用ください。

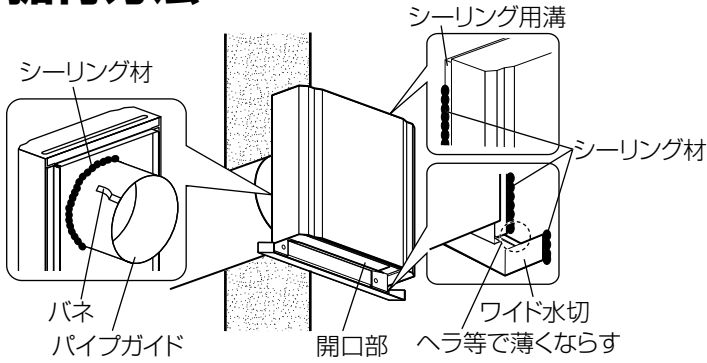
据付け前のお願い

- 使用環境が-30℃～50℃の範囲になる場所で使用してください。
- 重塩害エリアには重塩害グレード(受注対応品)を必ずご使用ください。
- この製品は汚染ガス耐力(酸、薬品、温泉害等)を持たせたものではありません。下記のような場所での使用は腐食が急激に進み、寿命が著しく低下するおそれがありますので特にこまめな点検・清掃および早めのお手入れが必要です。
 - ・化学工場、パルプ工場等の構内、およびその周辺地域
 - ・工場、学校等の実験室などで化学薬品を使用する場所
 - ・温泉地域やプール、下水の排気などの用途
 - ・その他、腐食性物質、腐食性ガスの発生する場所
 - ・融雪剤が飛散する場所
- 点検・清掃や温度ヒューズの交換が容易にできるところへ据付けてください。
- フードを取りはずすために、ダクト中心から天井までの距離を右図のように確保してください。



- ダクトには、雨水の浸入を防ぐため、屋外へ向けて下りこう配をつけてください。（排気ダクト：1/100以上、給気ダクト：1/30以上）
- 据付けに支障がないよう、ダクトが外壁まで配管してあるか確認してください。外壁より飛び出た部分は予め切断してください。
- 有機溶剤、化学薬品が直接触れるとはく離、変色、発錆の原因となります。必ず下記の方法としてください。
 - ・タイル仕上げの外壁
 - …必ずタイルの酸洗い後に外壁部材を据付けてください。
 - ・吹付塗装仕上げの外壁
 - …必ず吹付塗装後に外壁部材を据付けてください。
- 製品据付け後、酸洗いや吹付塗装を実施する場合は、有機溶剤などが製品に触れないように必ず養生テープなどで養生してください。また、養生をはずした後は、必ず製品を水洗いしてください。
- 下記条件に該当する場合は、必ずねじによる据付けを行ってください。
 - ・スプリングによる固定が困難な場合
 - ・外風が強い場所に据付ける場合
- ギャラリ幅（16mm）以下の小動物（アブラコウモリなど）が侵入する可能性のある環境には、網付を推奨いたします。
- 網より小さい虫（ショウジョウバエ、ウンカなど）は侵入するおそれがあります。
- 室内側からの汚染空気や設置環境により、外壁面が汚れることがあります。

据付方法



お願い

- バネで固定できない場合または、強い外風が吹く可能性のある場所に据付ける場合は、ねじによる据付けを選定してください。

バネで固定する場合

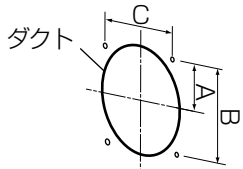
1. フードを据付ける前に、市販のシーリング材で左図のようにパイプガイドに防水処理を施す。
 2. 開口部が下側になるようにして、外壁まで配管されたダクトに差し込む。(バネにより固定されます)
 3. フードの全周(上部と側面部)のシーリング用溝に市販のシーリング材で防水処理を施す。
- ※図のようにワイド水切の端部はシーリング材を薄くし、ヘラ等でならして防水処理をしてください。

ねじで固定する場合

1. 木ねじの据付位置は左図を参照する。
※コンクリート壁面や木ねじによる固定が確保できない壁面などは、カールプラグをご使用ください。ご使用の際はカールプラグの注意事項を参照してください。
2. フード下部にある2本のフード固定ねじを取りはずし、フードを手前に持ち上げて取りはずす。
3. ベースのノックアウト据付用穴4か所をドライバー等で抜く。
4. パイプガイドに市販のシーリング材で防水処理を施す。
5. 開口部が下側になるようにして、外壁まで配管されたダクトに差し込み、市販のステンレス製木ねじ(4本)で確実に固定する。
6. フードの全周(上部と側面部)のシーリング用溝に、市販のシーリング材で防水処理を施す。
※図のようにワイド水切の端部はシーリング材を薄くし、ヘラ等でならして防水処理をしてください。
※シーリングをする際にシーリング用溝以外にシーリングが付着しないように注意してください。
7. フードをベース上部に引掛け、元通り据付ける。
※140N・cm以下の締付けトルクで締め付けてください。

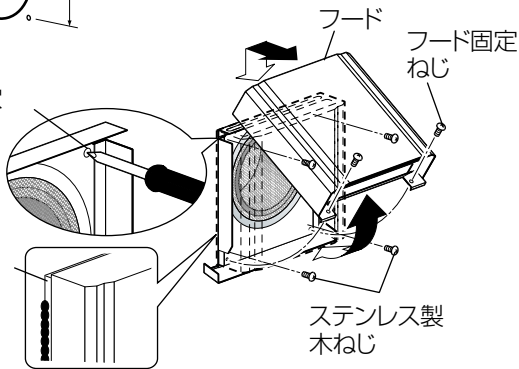
単位 (mm)

サイズ	A	B	C
φ75, φ100	53.5	115	120
φ125, φ150	78	165	170
φ175, φ200	105.5	209	220



ノックアウト穴(4か所)

シーリング用溝



お手入れ

※安全にご使用いただくために、必ず定期的な点検・清掃を行ってください。

点検項目

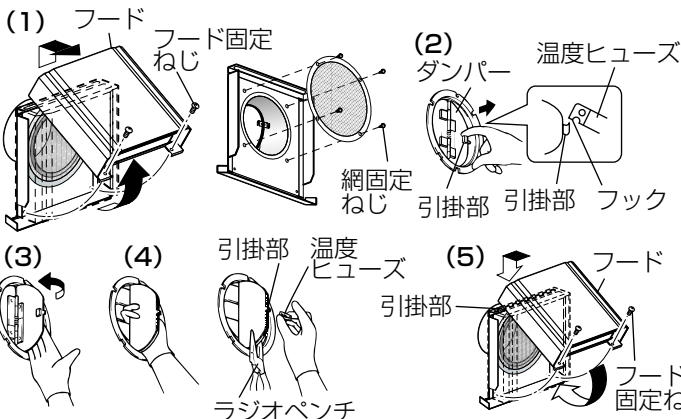
- 製品の据付け状態は正常であるか?
 - シーリング材に亀裂など、劣化していないか?
 - ねじ類に緩みなどが無いかな?
 - 製品各部にサビや塗装の浮きなどが無いかな?
 - 温度ヒューズに著しい腐食(銅板が青緑色へ変色)の発生がないか?
- ※点検の結果、異常が見つかった場合は、修理・部品(製品)の交換をお買い上げの販売店、工事店に依頼してください。

清掃

- 塩害エリア・重塩害エリアや融雪剤の影響を受ける設置環境では、付着した塩分などを除去するために定期的(1年以内ごと)に水洗いを行ってください。塩分や黄砂などの汚れをそのままにしておきますとサビの発生原因となります。
 - 網付の場合は油やほこりが付着しますと換気風量の低下や換気扇の故障の原因となりますので約3か月に1度を目安に清掃を行ってください。
 - 網をはずして掃除機等でほこりを吸い取る。
汚れのひどい場合は中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸してからきれいな水で洗い、よく乾かす。
- ※清掃・修理などの際にはシンナー・アルコール・その他化学薬品(酸・アルカリ洗剤)などの溶剤等を使用しないでください。腐食や変色・変質などの原因になります。

温度ヒューズの交換

※温度ヒューズの表面に腐食が発生した場合は、温度ヒューズを交換してください。交換はお買い上げの販売店、工事店に依頼してください。



1. フード下部にある2本のフード固定ねじを取りはずし、フードを手前に持ち上げて取りはずす。(網付の場合、網にある4本のねじを取りはずして網を取りはずしてください)
2. 開口部から手を入れて、ダンパーの引掛部を引掛け、片方のダンパーを起こす。
3. 開口部から手を入れて、もう片方のダンパーを裏側から押すように起こす。
4. 両方のダンパーを指ではさみ、引掛部に温度ヒューズを取付ける。(はさみにくいときは、ラジオペンチ等を使用してください)
5. フードをベース上部の引掛部に引掛け、元通り取付ける。
※140N・cm以下の締付けトルクで締め付けてください。
※温度ヒューズの取付けが困難な場合は、製品を壁面からはずして交換をしてください。交換後は、据付け時と同様の手順で据付けてください。

株式会社メルコエアテック